

# 令和3年度 入退院調整ルールづくり支援事業 入退院調整状況調査結果報告(ケアマネ調査)

## 目的

南和地域では、病院から在宅へのシームレスな移行にむけて、介護の必要な方が安心して入退院と在宅療養ができる環境づくりの一環として、平成31年2月に「入退院連携マニュアル」を作成、運用を開始し2年が経過した。

本調査は入退院調整ルールの活用状況を把握し、前年度調査からの比較を行い、病院とケアマネジャー等の連携による効果と課題を把握することを目的に実施する。

## 概要

### 方法

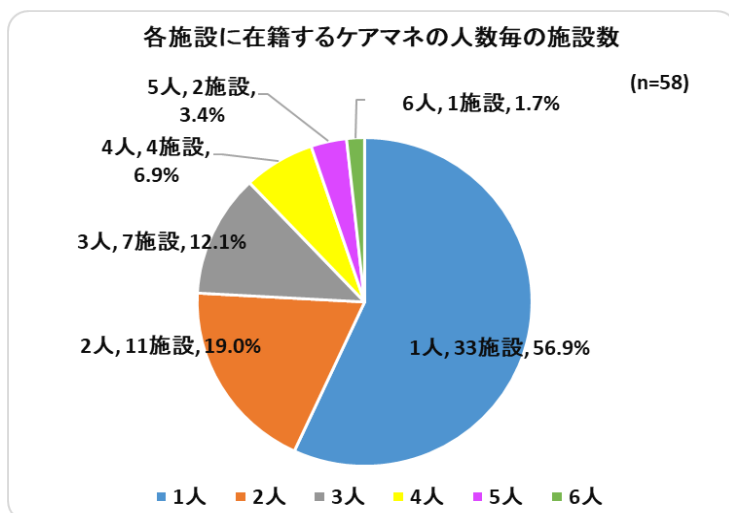
南和地域の事業所のケアマネジャーに調査票(別紙)を用い、担当するケースのうち、令和3年6月1日～30日の1ヶ月間に病院から退院したケースの退院調整の連絡状況と、入院したケースに関する入院時情報提供書の提出等についてアンケート調査を実施。

項目	内容
調査期間	令和3年6月1日～6月30日の1ヶ月間
調査票回収期間	令和3年7月1日～8月4日
対象事業所	南和地域12市町村 〔五條市・吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・野迫川村・十津川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村〕 居宅介護支援事業所 42カ所 小規模多機能型居宅介護支援事業所 4カ所 地域包括支援センター 12カ所 計 58カ所
調査票回答者	対象事業所のケアマネジャー
回答事業所数 (回収率)	居宅介護支援事業所等 46カ所 (100%) 地域包括支援センター 12カ所 (100%) 計 58カ所
ケアマネジャー 回答者数	居宅介護支援事業所等 83人 地域包括支援センター 25人 計 108人

[対象事例がない場合、0件での報告となります]

## 結果

### 各施設に在籍するケアマネジャーの人数毎の施設数 (令和3年6月30日現在)



ケアマネジャー数	施設数
1人	33
2人	11
3人	7
4人	4
5人	2
6人	1
計	58

施設に在籍するケアマネジャーが1人体制の事業所(包括含む)が33施設/58施設(56.9%)と半数以上の割合を占めた。

※12月調査:ケアマネジャーが1人体制の事業所(包括含む)が26施設/55施設(47.3%)

## 1. 担当ケースの概要（令和3年6月30日 現在）

### ① 回答のあったケアマネジャー（108人）の担当ケース数

	計	要介護	要支援	総合事業対象者	その他*
現在の担当ケース	3,152	1,996	1,103		53
うち、6/1～6/30に退院したケース	94	71	19	0	4
うち、6/1～6/30に入院したケース	88	72	15		1

\* その他：介護保険申請中、区分変更中、未認定等

### ② 6/1～6/30 に病院から退院したケースの概要

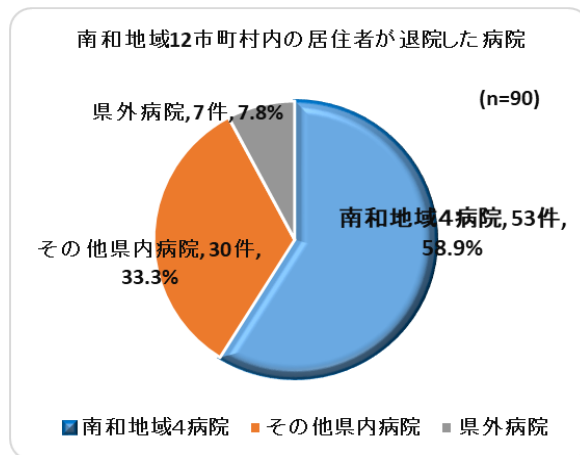
退院患者の介護度	利用者の居住地	南和地域12市町村	県内	県外	計
要介護		67	3	1	71
要支援		19	0	0	19
総合事業対象者		0	0	0	0
その他*		4	0	0	4
合計		90	3	1	94

\* その他：介護保険申請中、区分変更中、未認定等

### ③ 南和地域12市町村内の居住者（90件）が6/1～6/30に退院した病院

※県内市町村居住者：3件、県外市町村居住者：1件を除く

南和地域4病院	その他県内病院	県外病院
53	30	7

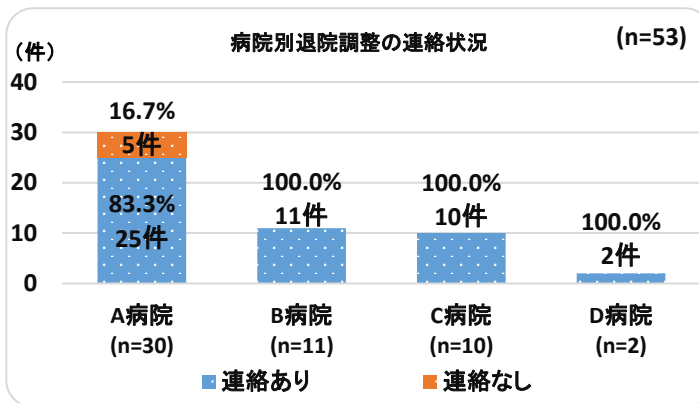
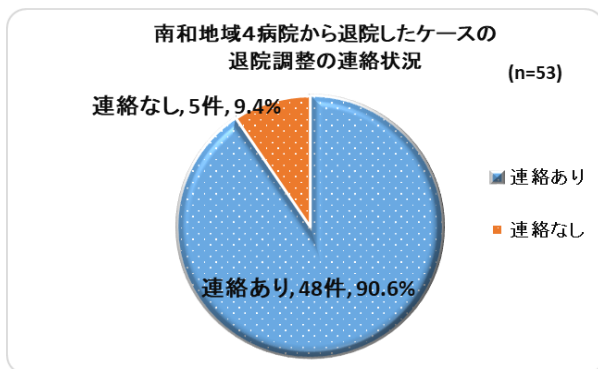


<その他の県内病院の内訳（抜粋）>

奈良県立医科大学附属病院	6
天理よろづ相談所病院	5
秋津鴻池病院	4
済生会御所病院	4
済生会中和病院	3
大和橿原病院	2

## 2. 南和地域4病院からの退院調整の連絡状況

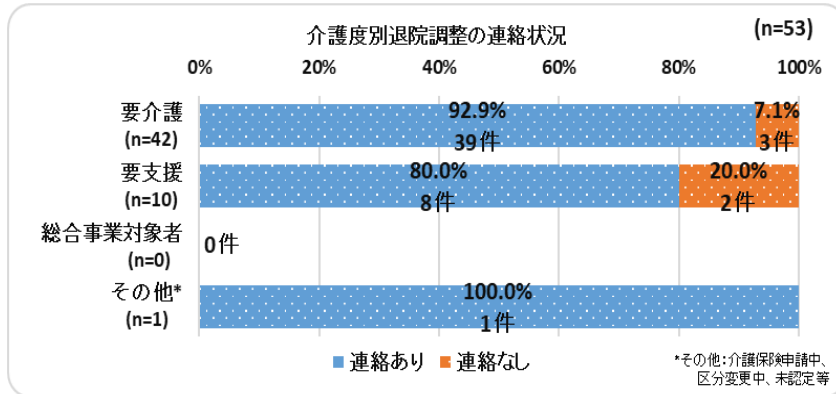
### ① 南和地域4病院から退院したケース（53件）の退院調整の連絡状況



退院調整での連絡状況は「連絡あり」が48件/53件（90.6%）であった。

※12月調査：「連絡あり」51件/57件（89.5%）

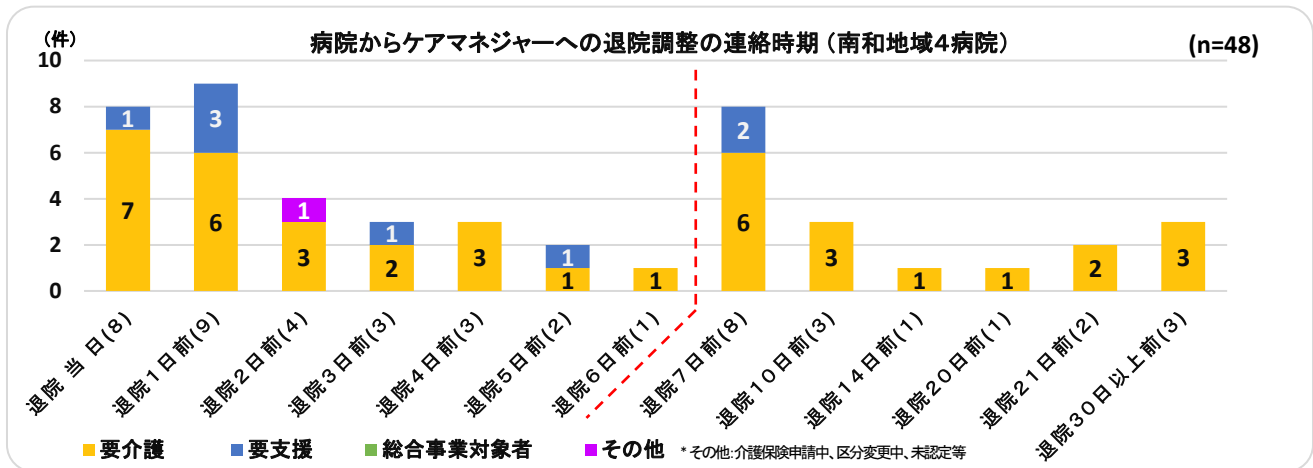
## ② 介護度別退院調整の連絡状況



退院調整の連絡状況は、「連絡あり」要介護 39件/42件 (92.9%)、要支援 8件/10件 (7.1%)。

※12月調査:「連絡あり」 要介護 43件/46件 (93.5%)・要支援 2件/5件 (40.0%)・その他 6件/6件 (100%)

## ③ 病院からケアマネジャーへの退院調整の連絡時期



退院調整に必要な期間とした「退院7日以上前」にケアマネジャーに連絡があったのは18件/48件 (37.5%)。他圏域で運用されている「退院5日以上前」は 21件/48件 (43.8%)。

※12月調査:退院7日以上前 25件/51件 (49.0%)、退院5日以上前 30件/51件 (58.8%)

## ◆ 退院調整に問題があった場合の理由(複数回答可) ◆

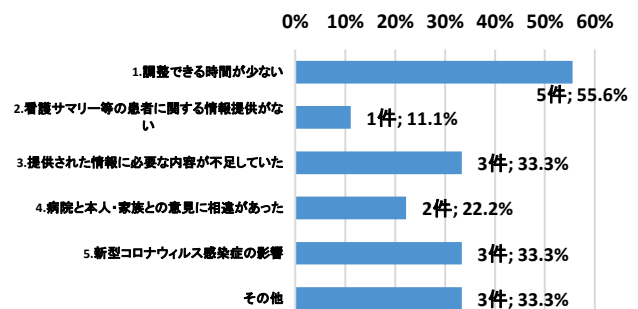
<ケアマネジャー 9人が回答>

1.調整できる時間が少ない	5件
2.看護サマリー等の患者に関する情報提供がない	1件
3.提供された情報に必要な内容が不足していた	3件
4.病院と本人・家族との意見に相違があった	2件
5.新型コロナウイルス感染症の影響	3件
その他	3件

(「その他」の理由)

- ・入退院繰り返し治療中
- ・強制退院
- ・カンファレンスが行われなかった

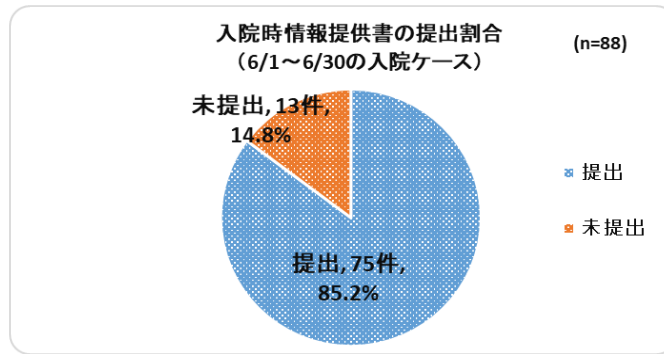
## 退院調整に問題があった場合の理由(複数回答可)



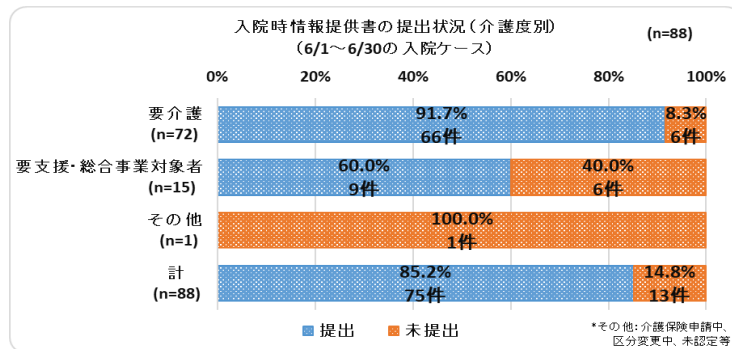
退院調整に問題があった理由として、「調整出来る時間が短い」が 5件 (55.6%) と最も多い。「提供された情報に必要な情報が不足していた」が 3件 (33.3%) であった。

### 3. ケアマネジャーから病院への入院情報提供書の提出状況

① 入院時情報提供書の提出割合（6/1～6/30の入院ケース 88件）



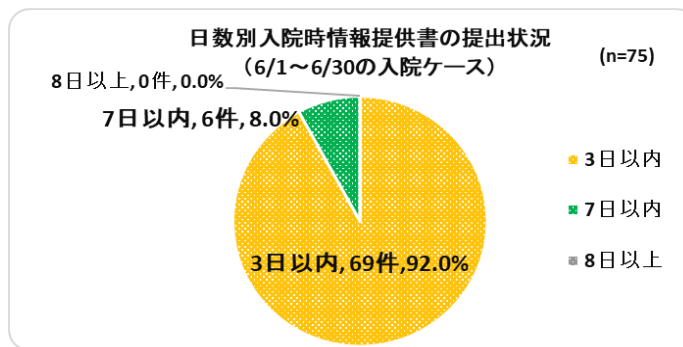
② 介護度別入院時情報提供書の提出状況（6/1～6/30の入院ケース 88件）



要介護認定を受けている患者の入院では、入院時情報提供書は66件/72件(91.7%)提出されていた。

※12月調査: 要介護認定患者の入院時情報提供書の提出 52件/67件(77.6%)

③ 日数別入院時情報提供書の提出状況（6/1～6/30の入院ケース 88件中、「提出」75件）



入院時情報提供書の提出があった75件のうち、69件(92.0%)が3日以内に提出されており、7日以内の提出も含めて、75件全て(100%)が7日以内の提出となった。

※12月調査: 3日以内 55件/65件(84.6%)、7日以内も含めて 61件/65件(93.8%)

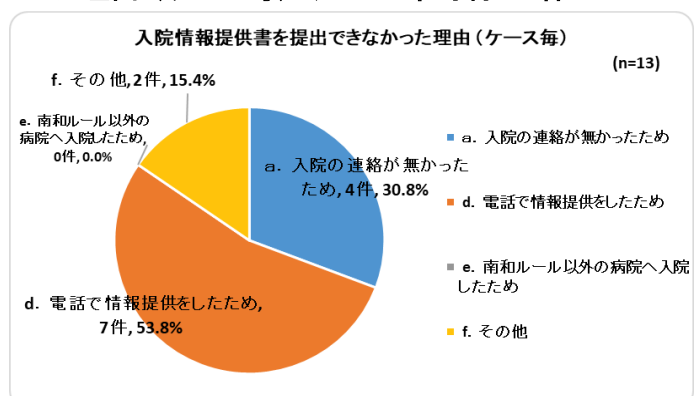
#### ◆ 病院へ入院時、入院情報提供書を提出できなかった理由（ケース毎）◆ … 5市町村・13件

<5市町村 13件>

a. 入院の連絡が無かったため	4件
d. 電話で情報提供をしたため	7件
e. 南和ルール以外の病院へ入院したため	0件
f. その他	2件
	13件

(「その他」の理由)

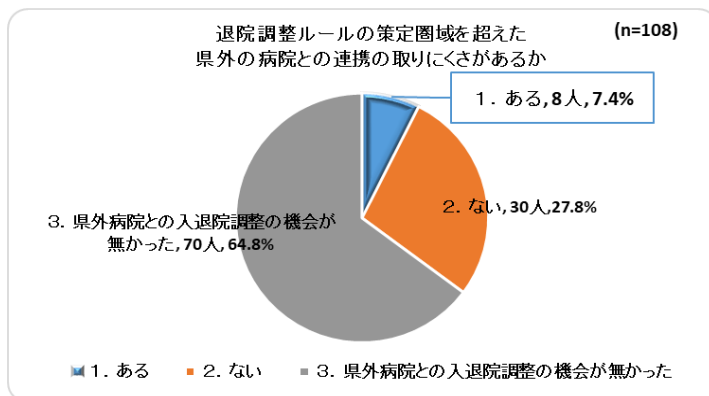
- ・病院から連絡があったのが休日で医療機関と入れ違いで連絡できなかった。
- ・長期ショートステイ利用中で状態の把握ができていなかった。口頭で伝えた。



#### 4. 県外の病院との連携について（ケアマネジャー 108人）

- ① 平成31年2月の退院調整ルール運用後から現在（令和3年6月末）までの期間で、退院調整ルールの策定圏域を超えた県外の病院との連携の取りにくさがあるか。

1. ある	8人
2. ない	30人
3. 県外病院との入退院調整の機会が無かった	70人
	108人



- ② 連携の取りにくさがある場合の理由について。

##### <新型コロナウイルス感染症の影響> … 2件

- ・都市部の病院はコロナの対応などで忙しいのか入退院の連絡が全く入らない。入所施設を探す場合もケアマネに任せっきりでなかなか連携できない。
- ・コロナ感染予防対策によりZOOMや電話での要請となった。電話では各事業所ごとに伝える必要があり時間を要した。

##### <担当窓口が分からない> … 4件

- ・担当窓口、連絡先が分からない。
- ・情報連携する事の必要性を受け手（病院側）が感じておられないのか、説明するが理解されていないことが多々ある。

##### <入院時情報提供書等のシートが普及されていない> … 2件

- ・現行の入退院連携シートを使ってよいか分からない。
- ・連携シートの使い方を相手の病院がわからない時があった。

##### <その他> … 2件

- ・遠いところはインターネットを活用したい。県内市内病院施設関わらずインターネットを活用すべき。往復（郵便代も含む）時間削減していきたい。
- ・地域連携室のスタッフの方の経験、人柄にかなり左右されるので、顔が見えず電話だけの対応の場合、スムーズにいかない事があります。また、病院の環境やシステムも把握しにくいので地域連携室が頼りになりますが、経験不足の方が窓口の場合、困ったことがありました。県外病院の場合は利用者との接見も困難で、特に連絡窓口が病棟になかったり、地域連携室になかったり、また、看護師さんがコロコロ変わりご本人の状態像が把握しづらく、結果適切なサービスが検討できなかったこともありました。仕方がないのでご家族に状況をお聞きしていたら「私は素人なのでわかりません、病院に聞いてください。」とお叱りを受けた事もありました。□

## 5. まとめ

- ・病院からの退院調整の連絡は90.6%と90%を超え、経年的に上昇している。
- ・入院時情報提供書の提出率は85%であり、令和元年6月調査と同様に80%以上となっている。
- ・退院調整に問題があった場合の理由は「調整できる時間が少ない」が最も多い。病院調査より、R元年度調査に比べ、R2年度調査では退院連絡率は上昇しているが、早期に退院連絡をすることは困難な様子である。
- ・入院時情報提供書を提出できなかった理由としては、「電話で情報提供したため」が最も多く、病院とは電話で連携していることが多い。
- ・県外病院と入退院調整したのは約30%あり、その中でも連携のとりにくさがないと答えた割合が高かった。
- ・県外病院への連携のとりにくさがある場合の理由は「担当窓口が分からない」「入院時情報提供書等のシートが普及されていない」と回答していた。県内では会議等を通して顔の見える関係が築けてきており、ルールも定着してきていることが窺える。

実施状況の経過	平成30年 6月調査	平成30年 12月調査	令和元年 6月調査	令和元年 12月調査	令和2年 6月調査	令和2年 12月調査	令和3年 6月調査
病院からの退院調整の連絡状況	39件 59.1%	41件 63.1%	51件 83.6%	39件 67.2%	51件 85.0%	51件 89.5%	48件 90.6%
ケアマネジャーから病院への入院時情報提供書の提出状況	72件 69.9%	75件 67.6%	72件 87.0%	77件 72.0%	71件 71.0%	65件 74.7%	75件 85.2%

